

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	八尾市立児童発達支援第2センター 八尾しょうとく園			
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		～	令和6年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64 名	(回答者数)	46 名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～	令和7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18 名	(回答者数)	18 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 子ども達がのびのびと過ごすことのできる保育環境。	・ 緑の木々に囲まれ広々とした園庭や明るい陽ざしのさす園舎であることが、明るく暖かい雰囲気を感じさせている。 ・ 職員による日々の清掃、点検や専門業者による定期的な点検、整備により、安全かつ清潔な環境整備に努めている。	・ 今の環境を保つためにも、引き続き清掃、点検を実施していくとともに、子ども達がより安全でのびのびと過ごしていけるよう、施設設備、環境整備の計画的な更新を進めていきたい。
2	・ 子どもの成長に合わせた保育や支援の提供ができています。	・ 保育プログラムにおいては様々な領域のあそびを設定し、毎日異なるあそびを展開している。行事に関しても季節に応じたイベントを行っている。 ・ 保護者のニーズ、子どもの発達に応じた支援計画の作成に心がけている。	・ 今後も様々なあそびを子ども達に提供していくためにも、しっかりと支援計画の作成においても、職員のスキルアップは必要であると考えられる。そこに向けて外部研修を含めた積極的な職員研修の機会を設けていきたい。
3	・ 総体的に高い利用満足度。 子どもは通所を楽しみにしていますか。 はいの回答93.5% 事業所の支援に満足していますか。 はいの回答100%	・ 保護者が安心感を得られるように、園での子ども達の様子を連絡ノートやアプリを通じてこまめに発信している。 ・ 子ども達が楽しく、安心して通えるような保育プログラムの計画、実施や雰囲気づくりに努めている。	・ 引き続き、子ども達の園生活での様子や発達の状況等を保護者の方と共有しながら支援の提供を行っていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 地域の子ども園との交流や他の子どもと一緒に活動する機会が持てていない。	・ 新型コロナ以降、地域の子ども園との交流保育や当センターにおける親子教室などを中断していたため、交流の機会を設けることができていなかった。	・ 以前に当センターと交流保育を行っていた、地域の子ども園との交流保育再開に向けて検討、打診をし、令和7年度より再開することとなった。
2	・ きょうだい支援等を含めた家族支援やその他家族支援に係る情報提供が十分に行えていない。	・ 外部の大学講師を迎えてのペアレント・トレーニングやその他、保護者を対象とした研修会、講演会を実施しているが、就労している保護者も増えてきているため、参加の難しい場合があると考えられる。	・ 同一内容の研修会、講演会を複数回実施できるような日程調整や当センター以外での研修会等の情報提供も積極的に行っていきたい。
3	・ 施設設立から40年弱経過し、施設設備等の老朽化が目立ちはじめ、子ども達の園生活、活動において合わない部分もみられてきている。	・ 施設設備等については、子ども達の園生活において不可欠なものから順次更新、修繕を行っているところではある。しかしながら、運営上、更新や修繕に手の回りきらない点多々ある。	・ 今後も引き続き、保護者や職員の意見に努め、更新、修繕の必要な箇所等の検討を十分に行うとともに、計画的に実施していけるよう進めていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
八尾市立児童発達支援第2センター 八尾しょうとく園		令和 7年 2月 4日				46	
		利用児童数				64	
						46	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整 備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100.0%				・教室、園庭も広く、過ごしやすい環境 だと思ふ。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	95.7%	2.2%		2.2%	・少し先生の数が減ったように思ふ が、保育には支障なく行われていると思 ふ。	・職員体制を見直し、フリー保育士の拡 充に向けて取り組んでいきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100.0%				・清潔で、子どもにとってわかりやすい 環境になっていると思ふ。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	84.8%	15.2%			・手洗い場からタオルをかけている場所 までの間で水がポタポタ落ちるのが気 になる。	・子どもにハンカチの使用法等を含め た手洗い指導を行っています。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	100.0%				・親の意見を聞き取り、支援計画が立て られており、それに沿った支援がされて いる。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0%				・計画の達成に向けて支援・指導がされ ている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	91.3%		2.2%	6.5%	・毎日、内容の違う遊びがされており、 季節に応じたイベントもあり、良いと思 います。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	54.3%	21.7%	4.3%	19.6%	・年長児だけでなく交流保育があればい いのではないかと思います。	・新型コロナ以降、中断していた年中児 の交流保育を再開することとなりました。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	89.1%	6.5%		4.3%		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニ ング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	80.4%	13.0%		6.5%	・ペアトレ等を学ぶ機会はあるが、参加 できなかった保護者にも、レジュメ等を 配布してもらえるとうれしい。	・ご希望の方には資料等を配布をさせて 頂きます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	97.8%	2.2%				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95.7%	4.3%			・悩みがあった時など、いつも電話等で 相談にのって頂いています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	89.1%	8.7%		2.2%	・年に数回、保護者交流の機会もあり、 情報交換などたくさんの情報を得ること ができている。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	93.5%	6.5%			・子どもの心配事の相談にのってもらっ たり、ドクターにつなげてもらうことも できている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	95.7%			4.3%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	93.5%	2.2%		4.3%	・園での日々の状況や情報を適切に発信してもらっています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91.3%	2.2%		6.5%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87.0%	8.7%		4.3%	・感染症発生時には、その都度お知らせしてもらえるのでありがたい。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	93.5%	2.2%		4.3%	・1年を通して、いろいろな訓練しており、災害に対しての備えが行われていると思います。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93.5%	4.3%		2.2%	・バスに乗るところから声をかけてくれて、子どもも楽しく通えています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0%				・子どもは園が大好きで、楽しく通っており、安心して預けることができます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		八尾市立児童発達支援第2センター 八尾しょうとく園				公表日	令和 7年 4月 7日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	43%	57%	・配置基準の人員に加え、フリーの保育士を配置している。	・子どもの状態にもよるが、もう少しフリーの職員がいれば、子どもにとっても職員にとっても良い環境になる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	・子どもにとって視覚的に分かりやすい環境づくりには努めている。	・しっかりと構造化された環境とまではなっていない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	・毎日、職員による清掃・消毒を行っている。	・室内の棚や子ども用トイレ等、劣化、老朽化が目立つ。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	71%	29%		・頭痛やパニック等を起こした子どもが落ち着けるような個別の部屋が必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	71%	29%		・目標設定はしているものの、振り返りができていないことがある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎年、保護者へのアンケートを実施、業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86%	14%		・業務改善につなげるための担当や会議等の機会は設けているが、職員にとって十分納得のいく改善までは至っていない。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		・定期的に第三者評価を受審し、業務改善に努めている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・年間研修計画を策定し研修に取り組むとともに、外部研修への参加も推奨している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・支援プログラムについては作成・公表ができています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・懇談等を通じて保護者ニーズの聞き取りを行った上で、個々の発達段階に応じた計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・子どもに関わる職員が携わり計画の策定がされている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・支援に取り組むとともに、個人記録等への記録を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%		・すべての職員に発達検査の内容を共有できていないと感じる。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%		・訓練については、個別プログラムとなるため、各担当者が訓練課題等を設定している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・様々な領域の遊びを提供できるようプログラムを立案している。			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・保育と訓練とで集団・個別のプログラムを実施し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	71%	29%		・情報共有は十分に行なえている、必ずしも毎日となると難しいこともある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	57%	43%		・重要事項の申し伝えや共有は行っているが、『支援の振り返り』がどこまでのことを指すのか理解が難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・日々の記録に関しては、個人記録等により記録し、支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的なモニタリングと計画の見直しはできている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・サービス担当者会議等の会議については、管理職のみならず、担当職員が参加できているようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・必要な家庭については、行政機関や他事業所等との連絡、連携を図りながら支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・学校園との引継ぎを行い、情報共有を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100%		・積極的な他事業所からの見学等の受け入れや当センターにおける支援方法の伝達、共有を行う等することで、他事業所との連携を図っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		・外部研修への積極的な参加を推進している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%		・担当者を配置し、自立支援協議会等の会議や研修に参加するようにしている。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%		・交流保育や当センターで行う親子教室等において、地域の子どもとの活動の機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・連絡ノートやアプリ等を通じて、日々の様子を伝えるとともに、学期ごとに懇談の機会を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・外部講師によるペアレントトレーニングを行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・入園前には、重要事項説明書等に沿って説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・家庭訪問や懇談を行い、ニーズ、意向の確認を行う機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	86%	14%	・懇談時に支援内容等の説明を行い、紙面上での同意を得るようにしている。	・同意は得ているものの、保護者に対して十分な説明ができていないかの確認はできていない。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・少なくとも学期ごとの懇談の機会を設けている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・保護者会と連携し、交流の機会を設けるなど、保護者同士の連携の支援を行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・相談に限らず、進路相談や嘱託医との相談の機会を持てる体制となっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・法人季刊誌の発行やブログ、アプリ等を通じて情報の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・個人情報取扱いに関する研修を行うようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		・園行事（移動動物園など）への招待案内や親子教室の開催をしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			・有事に備えた家族への引き渡し訓練等を行っていることも必要。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・避難訓練については、様々な想定のもと毎月行うようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・子どもの健康状態や既往歴等の把握、確認は入園前、入園後も適宜行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・アレルギー児に対しては、アレルギー検査結果に基づく医師の指示のもと対応を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・安全な園生活、支援の提供ができるよう、計画的に訓練並びに研修を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%		・保護者に対して、バス送迎時の待ち方や自転車の乗り方などの安全確保に関する伝達、周知ができればなお良いと思われる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットについては、日々情報共有を行うとともに、毎月の会議においてその傾向や改善策等の共有を図っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・研修以外にも、支援の振り返りと合わせて虐待につながるような関わり等がなかったかを確認する機会を設けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	71%	29%	・説明、同意を得た上で、身体拘束等の記録を残すようにはしている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	八尾市立児童発達支援第2センター 八尾しょうとく園（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日 ～ 令和7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日 ～ 令和7年 3月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 3日 ～ 令和7年 2月 28日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8カ園	(回答数) 4カ園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援の提供時の様子や支援等については、保護者や訪問先との情報共有がしっかりできている。	・訪問時の記録を、保護者、訪問先へ渡すことで、訪問支援提供時の支援のあり方や子どもの様子等を、三者で共有している。	・今後も、引き続きわかりやすい記録をとり、三者で共有していく。
2	・障がい児療育に長年携わる職員が訪問支援の提供を行う体制ができている。	・当センターにおいて、10年以上障がい児療育に携わる職員が訪問支援員を担えるように、人員配置、体制を整備している。	・継続的に体制を整えることができるよう努めていくとともに、次の世代、担当への引き継いでいけるよう人材の育成についても取り組んでいきたい。
3	・保護者にとっても、訪問先にとっても適切な支援、助言等が行える訪問支援が提供できる。	・保護者や子どもの意向はもちろん、訪問先の教育方針等も踏まえて支援方法を検討し、保護者、訪問先と調整しながら支援の提供を行うようにしている。	・保護者、訪問先とのコミュニケーションをしっかりとりながら、支援方法の検討と支援の提供に努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者に対する支援プログラム等の情報発信が、適宜行えていない。	・センターとして、保護者研修会の開催やペアレントトレーニングの実施はしていたが、それらの情報提供が保育所等訪問支援を利用している保護者、家族にまで行えていなかった。	・今後は、当センターで行っている研修会等の案内を行うとともに、子どもとの関わり方などをテーマにした外部講演会や情報等があれば情報提供をしていく。
2	・訪問支援職員のスキルアップのための研修機会が、なかなか持てていない。	・センター職員とともに、発達障がいに関する基礎研修や虐待関係の研修に参加することはあるが、訪問支援に関する専門的な研修自体を見つけることができていない。	・訪問支援に関する専門的な外部研修があれば積極的に参加するとともに、当センターの訪問支援員同士の連携を深め、各自の支援方法等の共有を図ることでスキルアップできるよう努めていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 八尾市立児童発達支援第2センター
八尾しょうとく園（保育所等訪問）

公表日 令和 7年 4月 16日

利用児童数

16

回収数

7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	57.1%	28.6%		14.3%		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	85.7%			14.3%		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100.0%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100.0%					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	85.7%		14.3%		・（訪問が）月に2回では少ない。もっと行ってほしかった。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.0%					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100.0%					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100.0%					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0%					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	85.7%			14.3%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	・研修会や講演会の案内がほしかった。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100.0%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	85.7%	14.3%				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100.0%					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0%					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100.0%					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100.0%					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100.0%					
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%		
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	42.9%			57.1%		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100.0%					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100.0%					
	28	事業所の支援に満足していますか。	100.0%				・いつも親身に話を聞いてくださり、ありがとうございます。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年 4月 16日				
八尾市立児童発達支援第2センター 八尾しょうとく園（保育所等訪問）		訪問先施設数 8 回収数 4				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	100%				
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・本校に来て頂いている方には、毎回適切な観察や助言をして頂いており助かっています。今後もよろしくお願いいたします。 ・いつも子どもたちのことや保護者の方のこと、そして職員のことを考えて支援していただいています。また、とてもわかりやすく伝えていただき、大変感謝しています。				・引き続き、訪問先施設と情報共有を図りながら、訪問支援の提供に努めていきます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		八尾市立児童発達支援第2センター 八尾しょうとく園（保育所等訪問）		公表日		令和 7年 4月 16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 備 営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100.0%			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。			・センターとしての業務改善については、参画している が、訪問支援事業半体となると、児発官と支援員とで業 務を進めているため、該当するかどうか判断がつかない。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	75.0%	25.0%	・保護者評価等で意向、意見を把握する機会 はあるが、現時点で関係職員への結果の周知 ができていない。	・保護者評価等を取りまとめ後、関係職員へ 周知を行った。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。			・センターとしては行っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。			・センターとしては行っている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	75.0%	25.0%	・センターの職員と一緒に研修に参加するこ とが多い。	・訪問支援に係る専門的な外部研修等があれ ば積極的な参加を推奨していく。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	100.0%			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100.0%		・保護者や利用児童のニーズ、訪問先の意向 等を含め、支援計画の作成に努めている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100.0%		・計画に沿った支援の提供はできている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。			・必要な行動観察等アセスメントは行ってい る。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100.0%			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100.0%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。			・センターとしては、職員間の必要な情報共 有はその都度行っている。ただ、訪問支援事 業半体となると1対1の支援となるため、そ こまでの必要性を感じない。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100.0%		・訪問先の意向等も聞きながら、支援の提供 を行うようにしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	100.0%		・支援提供時、支援内容等の記録をとり、訪 問先職員の確認と支援提供後に保護者へも記 録（写し）の配布を行っている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	100.0%		・定期的なモニタリングを行い、支援計画の 見直しは行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	75.0%	25.0%	・関係機関との会議等については、担当職員が参加することとしている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			・必要があれば連携を行う体制はあるが、現時点でそこまでのケースがない。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%		・引き継ぎ等を行い、支援内容等の情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			・センターとしては行っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			・センターとしては行っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%		・必要に応じて、電話連絡をとりながら、情報共有を図っている。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25.0%	75.0%	・センターとしては行っているが、訪問支援を利用している保護者への案内まではできていない。	・センターで行っている保護者研修会等の案内を、訪問支援利用の保護者へも情報提供していく。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%		・利用前に係る重説等の説明は丁寧に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100.0%		・訪問支援開始前に、説明を行った上で、支援の提供を開始するようにしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%		・支援の開始前に、保護者や児童から意向の聞き取り等を行い、支援計画の作成にあたっている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100.0%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100.0%			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			・センターとしては行っている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	75.0%	25.0%		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100.0%			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100.0%		・支援提供後、訪問先の担当職員と話をする時間を設けている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100.0%		・記録書類や電話連絡にて情報の共有を図っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100.0%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			・センター職員と一緒にやっている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			・センター職員と一緒にやっている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			・センター職員と一緒にやっている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			・センター職員と一緒にやっている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			・センターとしては行っている。訪問支援において身体拘束を行う場面自体がない。	